

# 力をあわせて子育て支援を

12月7日市議会一般質問で、えんど久子市議は、子育て支援の問題や国保税引き下げなど7項目について質問しました。

## 虐待の悲劇くり返さないため

えんど久子市議は、4歳の男児が命を落とした虐待事件にふれ「残念でならない。このような悲劇を二度と起こさないようにするため、行政と地域が一緒に取り組むことが必要。児童館が地域の子育てネットワークの核としての役割をしっかりと果たしてほしい。地域の力を高めるために行政がどういう役割を發揮するか、これは、福祉やまちづく

りで共通する課題だ。子育て支援センターで自主的な子育てサークルの取組みなどを、さらにひろげる事が大事。専門性をいっそう發揮するため、児童厚生員の正規化も必要では」と質問しました。また、世田谷区の児童虐待防止の取組み、中野区の地域に開かれた児童館などを紹介しました。



松山市中央児童センターでは、移動児童館のための車があります。（写真はHPより）移動児童館は、児童館の持っている機能を地域に広め、あそびを通して子どもの健全育成を図っていくものです。公民館などに出かけて活動します。別府市でも出前児童館の活動をしています。

## 地域の再生は重要な課題

課長から「より専門的な知識を持った職員となると、どういう人が適当なのか、現在の人員で取り組みができないのか等、検討したい」と答弁。

福祉保健部長は、「無縁社会といわれる中で地域の再生・まちづくりは行政の重要な課題。子育て支援の中で児童館のあり方、子

えんど久子のホームページ「はっぴーえんどどっとねっと」をぜひご覧下さい。「えんど久子」で検索すれば見られます。

日本共産党 別府市議団  
**げんきニュース**

発行責任者 平野文活  
別府市石垣西8-2-31  
TEL0977-22-6576

**No.491**  
2011. 12. 7.

えんど久子市議 強く求める

# 市長の決断で 国保税引き下げを

浜田市長の選挙公約である国保税の引き下げについて、12月市議会一般質問で、えんど久子市議は市長の姿勢を質しました。

## 短期証明書15%近くの世帯に

えんど久子市議は、まず短期保険証などの状況を質問。国保税を滞納しているために3ヶ月などの短期間の保険証しかもらえない世帯は、「09年度は15.1%、2010年度は14.4%、今年度は13.8%」と答弁。滞納世帯は20%以上あります。

えんど市議は、「国保税の引き下げは、市民の一番切実な要望。これまでの議会で『一般会計か

らの繰り出しも含めて市民の負担が軽減できるよう検討したい』とくり返し答弁してきたが、検討した結果どうなったのか。市長が一般会計からの繰り出しを判断すべき時だ」と市長に迫りました。

## 市長は決断できず

えんど市議は、何度も市長に決断を迫り答弁を求めました。しかし、浜田市長は「累積赤字が3億2000万残っており、累積赤字の解消という国

保会計の最優先事項と広域化を見通す中で、一般会計からの繰り出しも含め検討したい」と、これまでの答弁をくり返すばかりでした。

## 蕨市では国保税を上げないために

えんど市議は以前視察に行った埼玉県蕨（わらび）市の取り組みを紹介し、市長の姿勢を質しました。

蕨市では、毎年国保会計に10億近い一般会計からの繰り入れをして、国保税の値上げを抑えています。そのうち5億ほどは法定外繰り入れだそうです。

日本共産党員である頼高（よりたか）市長は、市長給与30%カット、

市長退職金半額カット、中3までの医療費無料化などを実現。4年間で公約の95%を実施・着手という実績をあげ、さらに、市立病院の赤字経営を5年ぶりに黒字にし、市の借金を28億円削減しています。頼高市長は今年6月再選されました。えんど久子市議は、運営協議会までに、引き下げの方針を出すよう、市長に強く求めました。

大文字草  
(ダイヤモンドソウ)

